

ひぐらしふれあい館建設工事説明会 議事要録

日 時：令和2年7月17日（金）19時00から20時00分

場 所：日暮里ひろば館 301洋室

参加者：近隣関係者15名

【主な質問・意見・要望等】

< 建設工事について >

No.	要望・意見等	回答
1	本工事において家屋調査は行うのか。	本工事においても、工事着手前に、対象住宅に対して家屋調査を実施いたします。
2	工事の開始時期はいつ頃か。	令和2年8月からの着手を予定しております。
3	本工事の前に行った解体工事の影響で出た自宅の修繕対応がまだなされていないが、修繕対応後に、本工事の家屋調査を実施するという理解でよいのか。	既存保育園解体の修繕が遅れていることは申し訳ありません。ご認識のとおり、前の解体工事にて影響が出た部分の修繕対応後に、本工事の事前家屋調査を実施いたします。
4	隣地の保育園の建設工事説明会では、家屋調査は実施しないと聞いたが、同じ時期に工事を行うので、自宅に影響が出た際はどちらに申し出れば良いのか。	どちらの工事で申し出ていただいても構いません。いずれかの工事による影響が疑われる場合であっても区として対応をいたします。
5	本工事敷地における土壌汚染調査結果を教えてください。	土壌汚染調査を行った結果、鉛とフッ素が基準を超えて検出されました。当該結果を踏まえて、掘削した土は適切に処分します。
6	本工事現場で、新型コロナウイルス感染者が出た場合、及び東京都から再度緊急事態宣言が出た場合の対応を教えてください。	仮に現場で感染者が出た場合、施工を止め消毒を行った後、保健所に相談しながら、適切な対応を検討します。
7	新しいふれあい館の南側道路は細街路にあたり、配慮が必要になるのではないのか。その際、工事中的仮囲いはどのように設置されるのか。また、外構工事はいつ頃行うのか。	敷地南側道路は建築基準法上の4.2条2項道路に該当するため、道路中心線より2mセットバックした線を新たな敷地境界線とします。 工事中は現行の道路際に仮囲いを設置する予定です。令和3年度に外構工事を行い、南側の道路拡幅（セットバックを含む。）を行う予定です。
8	南側道路に面する敷地に関して、細街路対応のセットバックで、どの程度の変化があるのか。	現状と比較して道路が（片側15cmずつで）30cmほど広がることになります。

9	本工事で使用するコンクリート杭の本数と長さを教えてほしい。	新しいふれあい館の敷地に打ち込む杭について、杭径60cm程度、長さ20mのものを50本程度打つことを想定しております。
10	前に実施した解体工事と比べて、騒音・振動はどうなるのか。	解体工事とは工事の内容が異なるため、一概には比較できませんが、大きな音が生じる工事を行う際は、事前に黒板にその旨を記載するなど、近隣の方への周知徹底に努めて参ります。
11	工事現場に騒音計は設置するのか。	南側道路に面した仮囲いに騒音計を設置予定です。
12	現場事務所はどこに設置するのか。	現場事務所の設置は、敷地内ではなく、敷地外を予定しています。
13	通常、職人は使用する道具を車両に入れて移動していると思うが、工事現場に車両で来た場合の駐車場所はどうするのか。	工事場所が三河島駅前ですので、職人に対しては公共交通機関の利用を勧めますが、車両を使用する場合には、近隣の民間パーキングを利用させる予定です。
14	工事中の騒音・振動等に対して、住民としての意向を伝えたい場合は、どうすればよいのか。	ご意見等がございましたら、現場事務所に伝えていただければと存じます。現場事務所は工事現場のすぐ近くに設置し、工事中は現場常駐者を配置いたしますので、即座に対応いたします。
15	残土排出やコンクリート打設の際に、工事車両が路上待機しないように留意してほしい。	路上駐車への対応については、警察と事前協議の上、残土排出やコンクリート打設などの際に、車両の路上待機が発生しないよう留意して工事を進めて参ります。
16	新しいふれあい館の敷地の南側道路にゴミ集積所が設置されているが、工事後に敷地を仮囲いされると、ゴミを置くスペースがなくなり、路上にはみだしてしまうのではないかと。配慮してほしい。	敷地の南側のゴミ集積所について、ゴミ出しの際にゴミが路上にはみ出すことがないよう配慮したやり方を検討いたします。
17	本工事で掘削する深さはどの程度を考えているのか。	本工事では、現状の地盤の高さから2.0～2.5mの深さまで掘削する予定です。
18	現場の朝礼の開始時刻を午前8時以降にしてほしい。近隣は土曜日の朝に在宅の家庭がいるので配慮してほしい。	現場の朝礼について、平日の朝礼開始時刻は、午前8時以降と致します。また、土曜日の朝礼については、近隣の方に配慮した方法で進められるよう検討して参ります。

<ふれあい館の計画・運用について>

No.	要望・意見等	回答
1	新しいふれあい館における台風等の自然災害への対策はどうなっているのか。	新しいふれあい館は、水害時の避難場所となる予定です。また、ミニ備蓄倉庫の設置も計画しており、二次避難所として機能するよう準備を進めて参ります。
2	新しいふれあい館の南側について、以前は園庭で比較的空間に余裕があった。本工事後は南側の敷地の際まで建物があるため、圧迫感が出てくるのではないかと心配している。何か対応を検討しているのか。	新しいふれあい館の敷地南側に対する空間的な配慮として、建物の3階・4階部分を南側道路に対してセットバック（後退）する対応を行います。
3	既存の日暮里ひろば館は、いつまで使用できるのか。	新しいふれあい館が開設する前までご使用いただくことができます。具体的には、令和4年3月31日まで使用可能です。
4	現在の日暮里ひろば館のスタッフの対応が好ましいため、新しいふれあい館でも同スタッフを雇用対象としてほしい。	新しいふれあい館は、施設の管理運営を公募した指定管理者に委託する予定です。 新しいふれあい館のスタッフ人事については、指定管理者が決定することとなります。